

特定非営利活動法人スサノオの風

令和 4 年 度(第 2 0 期) 活 動 報 告

令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 はじめに

スサノオの風は、平成15年6月に設立されて以来、20年が経過しました。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の波は沈静化せず、各種イベント・会議等が自粛され、特に佐田スポーツセンターは、フットサル大会が相次いで中止となり利用者の減少傾向が続きました。

一方、スサノオホールでは、感染症対策に留意しながら各種イベントの開催を心がけてきました。文化庁アートキャラバン事業「半崎美子 明日を拓くコンサート 2022」の開催をはじめ、利用促進事業として「出雲から戦争と平和を考える」写真展や映画の上映など、多岐に渡る事業を実施し、利用者数は8,000人を超えました。

障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、令和4年5月から八幡原の古民家に移転し事業を継続しています。利用者の方もきれいな施設に喜んでおられます。

また、昨年度に続き、佐田自治協会「佐田地域戦略会議」「小さな拠点・雇用創出部会」の事務局を受託し、併せて、令和4年度から取組みが開始された、農村RMO形成推進事業の構成員となり事務局を担当しました。

財政面は横ばい状態で、事業収益約5,630万円、経常費用約5,460万円となり、税引き後約130万円の増益となりました。

社員雇用面では、RMO専任社員として1名採用しましたが、4年度末に退職しました。

2 基幹会議

2-1 令和4年度社員総会

- 開催日 令和4年7月8日(金)午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 視聴覚室
- 出席者 53名(うち書面表決者 38名) 会員総数 74名
- 提出議案
 - ・令和3年度活動報告、令和3年度活動計算書の承認について
 - ・令和4年度活動計画(案)、令和4年度活動予算書(案)について
 - ・役員を選任について
 - ・令和4年度役員報酬額(案)について
 - ・字句の一部修正の委任について

2-2 理事会

【第1回理事会】

- 開催日 令和4年4月21日(木)午後6時から

- 開催場所 スサノオホール 2階会議室
- 出席者 7名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・農村 RMO(地域運営組織)形成推進事業採択に伴う事務局の受託及び専任社員の募集について
 - ・文化庁助成事業の実施について
 - ・中国地方地域づくり等助成事業の実施について
 - ・令和4年度理事長報酬額について
 - ・令和4年度予算案について

【第2回理事会】

- 開催日 令和4年7月9日(土)午後6時35分から
- 開催場所 スサノオホール 視聴覚室
- 出席者 8名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・理事長の選任について
 - ・副理事長の選任について
 - ・理事長報酬について
 - ・役員・監事出席費用弁償について
 - ・夏季賞与の支給について

【第3回理事会】

- 開催日 令和4年10月21日(金)午後6時から
- 開催場所 スサノオホール 展示室
- 出席者 8名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・社員副業規程の制定について
 - ・通勤手当額の特例について
 - ・最低賃金額改正に伴うバイト賃金の改正について
 - ・佐田地域づくり協議会への資金貸与について
 - ・今後の活動予定について

【第4回理事会】

- 開催日 令和4年11月30日(水)午後0時から
- 開催場所 スサノオホール 会議室
- 出席者 10名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・冬季賞与の支給について
 - ・令和4年度活動計画について
 - ・介護予防教室従事手当支給について
 - ・令和5年度懸案事業について
 - ・法人創立20周年記念事業について

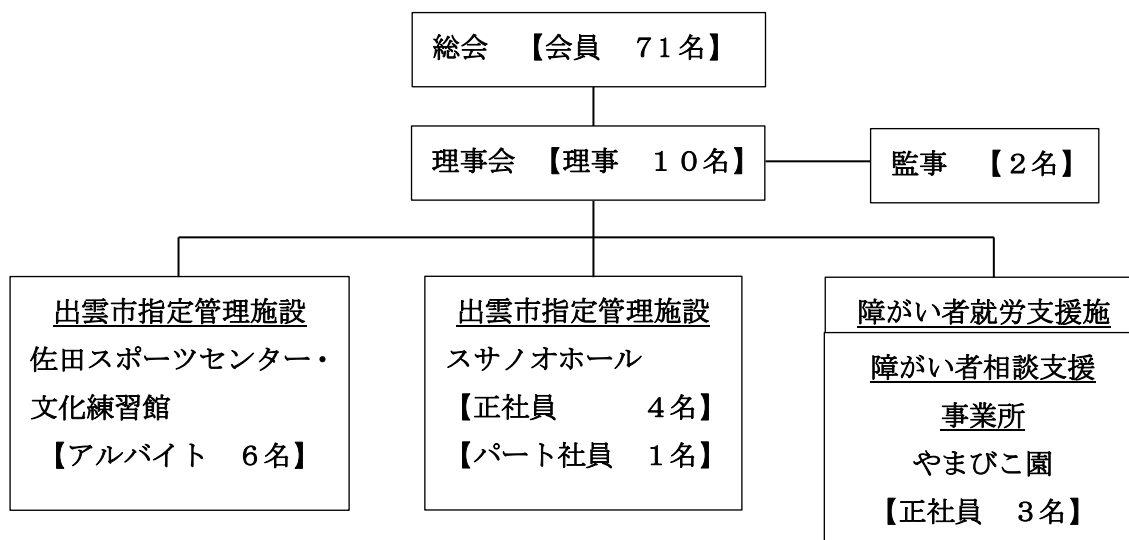
【第5回理事会】

- 開催日 令和5年2月17日(金)午後0時から
- 開催場所 スサノオホール 会議室
- 出席者 9名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・就業規則の一部改正について
 - ・給与規程の一部改正について
 - ・令和5年度社員体制について
 - ・令和4年度末手当の支給について
 - ・法人創立20周年記念事業について

【第6回理事会】

- 開催日 令和5年3月29日(水)午後0時から
- 開催場所 スサノオホール 会議室
- 出席者 9名 理事総数 10名
- 提出議案
 - ・令和5年度社員体制について
 - ・令和5年度事業計画について
 - ・令和5年度予算案について
 - ・理事長報酬額について

組織体制(令和5年3月31日現在)



★令和4年度中の社員の推移

- ・令和4年4月1日現在社員数 7名
- ・令和4年度中退職社員数 1名
- ・令和4年度中採用社員数 1名
- ・令和4年度末社員数 7名

※社員は、パート社員を含む。

3 指定管理施設受託事業

3-1 スサノオホール、佐田スポーツセンター、文化練習館の管理運営

実施区分：委託事業

実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

実施内容：指定管理業務仕様書に基づき、各施設の使用受付、利用料金徴収、清掃業務等を実施した。また、利用促進のための自主事業を実施した。(後記)

利用実績：新型コロナウイルス感染症の拡大によりスポーツ大会の中止が相次ぎ、佐田スポーツセンターの利用者は減少幅が大きくなった。一方、スサノオホールは、自主事業を積極的に展開したため利用者は8,000人台と大幅に伸びた。利用者を居住地別にみると、佐田地域の利用者は減少傾向が続き、全体の3割程度と言える。施設設備面では、スサノオホール、佐田スポーツセンターとも築40年以上が経過し、老朽化が進行している。特に、スサノオホールの空調設備はいつでも機能不全に陥る危険性を抱えている。

4年度 スサノオホール2階トイレの洋式化、音響マイクの更新、グラウンド照明塔1基の更新が実施された。

★スサノオホール

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和4年度	8,156	171	1,407,821
令和3年度	6,538	134	1,080,448
対前年比	1,618	37	327,373

★佐田体育館・グラウンド

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和4年度	7,176	590	1,012,896
内 体育館	4,469	486	650,346
令和3年度	5,628	578	1,061,386
内 体育館	4,194	501	739,656
対前年比	1,092	148	302,841

★文化練習館

年度	利用人数(人)	利用回数(回)	利用料金(円)
令和4年度	1,081	72	158,988
令和3年度	981	66	102,616
対前年比	100	6	56,372

市方針：令和5年3月出雲市公共施設あり方指針(第2次)において、スサノオホール、佐田スポーツセンターの方針について提起されている。

【スサノオホール】

統合・複合化 ○老朽化が進んでおり、耐震性に問題がある可能性がある。(令和4年度(2022)に耐震診断を実施) ○耐震診断の結果や今後必要となる改修・修繕費によっては、近隣施設との統合・複合化も視野にあり方を検討する。

【佐田スポーツセンター】

統合・複合化 ○耐震性、安全性等に問題があり、耐用年数の状況からも今後の長期使用が見込めない。○避難所としての機能の確保も必要であることから、近隣施設との統合・複合化も視野に今後のあり方を検討する。

4 文化振興事業

4-1 佐田町文化協会事務局の運営(事業支援)

佐田町文化協会事務局の運営を担当。理事会、評議員会等会議の開催、出雲市文化団体連合会会議への参加。文化協会自主事業への支援。

・スサノオの里スーパー神楽 2022 ・出雲神在月市民芸術文化の祭典 ・こども神楽大会

4-2 スサノオホール自主事業

① 出雲から戦争と平和を考える～沖縄復帰 50 年と出雲の戦争遺跡～

開催時期：令和4年6月17日(金)～令和4年9月4日(日)

実施内容：終戦後77年。沖縄復帰50周年の節目に、身近にある戦争の痕跡や現状を知り、平和への意識を高めることを目的に実施した。

◎パネル展「沖縄戦とひめゆり学徒隊」

日 時：6月17日(金)～7月27日(水) 9時～17時

来場者：117人

◎写真展「失われた大社基地」

日 時：7月29日(金)～9月4日(日) 9時～17時

来場者：193人

◎朗読会「ももちゃんのピアノ」

日 時：6月25日(土) 13時から 7月24日(日) 14時から

来場者：21人

◎上映会・トークショー「ドキュメンタリー映画 ひめゆり」

日 時：2022年6月26日(日) 10時・14時(2回上映)

※各回上映後、柴田昌平監督のトークショーを開催した。

来場者：67人





② 文化庁アートキャラバン事業「半崎美子 明日を拓くコンサート 2022」

実施日時：令和4年8月11日（木祝） 15時から

実施内容：佐田地域のまちづくりの指針となる「さだ未来ビジョン」の完成を機に、みんなが「力を合わせ明日に向かって進んでいこう」という意思を共有することを目的に、「明日を拓こう」「明日への序奏」など、人々の心を動かす楽曲を多く発表している半崎美子さんのコンサートを実施した。また、佐田中学校吹奏楽部の皆さんとの合唱(地球へ)によるコラボを行った。

来場者：354人



③ しまね映画祭 佐田会場

実施日時：令和4年10月1日（土）9時45分～16時

実施内容：しまね映画祭実行委員会との共催事業。

上映作品：「たたら～変わらない、それは幸せを願う気持ち～」 2回上映

「杜人 環境再生医 矢野智徳の挑戦」・「くじらびと」各1回上映

来場者：延べ108人

④ 謎解きゲーム～佐田にひそむナゾを追え～

実施日時：令和4年11月3日（木祝） 9時～16時

実施内容：佐田地域一大イベント「スサノオごととこいまつり」の開催にあわせ、全ての方を対象に、地域やホールについての学びを深める謎解きを実施。

参加者：34人

⑤ 市民のアート展

実施日時：令和4年11月3日（木祝）～令和4年12月11日（日）

実施内容：（農）橋波アグリサンシャイン従業員である三島大地さんによる、農村風景に一文を添えた写真展「はしなみギャラリー」を開催した。

来場者：296人

⑥ 演劇集団風煉ダンス 朗読劇&ライブ『まつろわぬ民 2022-更地のうた-』

実施日時：令和4年12月11日（日） 14時から

実施内容：全国5か所で公演を実施した風煉ダンス主催の事業。出雲会場は、スサノオの風の共催で実施した。東日本大震災での実話をもとにした朗読劇と白崎映美さんのコンサートで構成され、被災地の一日も早い復興を願った。

来場者：77人



⑦ 寺尾紗穂ライブ ～出雲のわらべ歌をまじえて～

実施日時：令和5年3月19日（日） 13時30分～15時30分

実施内容：ライフワークとして全国のわらべ歌を再発掘し、アレンジを行う音楽家の寺尾紗穂さんをお招きし、出雲のわらべ歌をまじえたライブを開催。当日は入場特典として、ドキュメンタリー映画「槌の子物語～東白川村の目撃談～」の無料上映も行いました。小さなお客様もたくさんご来場しました。

来場者：127人



5 スポーツ振興事業

5-1 出雲市スポーツ協会佐田支部事務局の運営(事業支援)

出雲市スポーツ協会佐田支部事務局の運営を担当。理事会、評議員会等会議の開催、出雲市スポーツ協会会議への参加。

5-2 100円で遊ぶDAY

実施期間：毎月第1土曜日 9時～17時 5月、6月のみ実施。

実施内容：体育館利用を増やすことを目的として、1人100円で何時間でも遊べる開放日を設けたが、利用者が少なかったため7月以降は中止した。

来場者数：10名

6 福祉事業

6-1 障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」運営

実施時期：令和4年4月1日から令和5年3月31日

実施内容：佐田地域内に居住する精神・知的・身体障がい者の皆さんの通いの場として「やまびこ園」を運営した。また、施設の老朽・狭隘化により一窪田から八幡原の古民家(借家)に移転した。利用者からは大変喜ばれた。また、紹介動画を作成しYouTubeに公開した。

利用人数：1,749人(延べ)

6-2 障がい者相談支援事業所「やまびこ園」運営

実施時期：令和4年4月1日から令和5年3月31日

実施内容：佐田地域内に居住する精神・知的・身体障がい者の皆さんの相談業務を実施。相談員は3名。

利用人数：8人(実人数)

6-3 出雲市第1号通所事業業務(通所型サービスA)「さだ予防教室」運営

実施時期：令和4年4月1日から令和5年3月31日

実施内容：佐田地域内に居住する、継続的な運動が必要と認められる要支援認定の高齢者を対象に毎週1回予防教室を開催した。

利用人数：延べ523人(43回開催)



7 中山間地域振興事業

7-1 さだのちいさなマーケット cotaba

実施期間：毎月第2日曜日（7・8、12～2月は休止）

実施内容：飲食や雑貨等の出店や、佐田地域の文化団体や音楽活動をする方のミニステージなど地域の賑わいを創出するために“コタバ”を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり来場者が減少した。

来場者数：延べ 1,660 人（出店者、関係者、スタッフ含む）



7-2 AR スタンプラリーさだモン

実施期間：令和4年7月3日（日）～10月31日（月）

実施内容：佐田地域内2エリア40か所に潜む“さだモン”をARアプリを用いて探索するスタンプラリーを実施した。開催にあたり、キャラクターを作成するWSやバスツアーを行った。

参加者数：75名（ワークショップ20名 スタンプラリー50名 ツアー5名）



7-3 佐田自治協会「佐田地域戦略会議」「小さな拠点・雇用創出部会」事務局運営

実施期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日

実施内容：佐田自治協会の委託を受け、「佐田地域戦略会議」「小さな拠点・雇用創出部会」の事務局を担当し、さだ未来ビジョンの具現化を図ってきた。部会に5つのワーキンググループが組織化され、実践に結び付く事を念頭に協議を行った。

7-4 佐田地域づくり協議会（農村RMO形成推進事業）事務局運営

実施期間：令和4年7月1日から令和5年3月31日

実施内容：令和4年度から農林水産省の新規事業として開始された「農村RMO形成推進

事業」に佐田地域が採択されたことを受け、事業の推進母体の佐田地域づくり協議会の構成員として参画、事務局を担当した。また、事業を効果的に展開するため専任社員を1名採用した。(令和5年3月末退職)



7-5 第3種旅行業

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、思うように取扱を増加させる事が出来なかった。8月の半崎美子コンサート、さだモンスタンプラリーツアーの送迎を実施した。

7-6 佐田がんばる塾の開催

実施期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日

実施内容：(公財)YS市庭コミュニティ財団の助成を受け、県内外の講師を招き、タイムリーなテーマの基に学習会を開催した。

4月 小さな拠点 高知県梶原町 講師 矢野富夫さん

6月 ネットワーク 出雲市 講師 坂根めぐみさん

8月 RMO 東京都 講師 小田切徳美さん

2月 見守り支援 雲南市 講師 高尾枝理さん

参加人数：66人

7-7 情報発信事業

実施期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日

実施内容：スサノオの風情報誌「風のたより」2回発行、ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、ライン(サダイズム)を積極的に活用し情報発信を行った。

8 その他の事業

8-1 (社福)やまゆり所有の古民家を借受、福祉と交流の機能を合わせた施設としました。名称を八幡原交流施設「結」とし、空き家の相談会やウクレレ教室、勉強会などに活用しました。

8-2 出雲市文化施設「朝日たたら」の管理を受託した。

8-3 出雲市レンタサイクル貸出事業を受託した。

8-4 佐田中学校職場体験学習で2名の生徒を受け入れました。

令和4年度事業の実施報告に関する事項
(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
①文化、芸術、福祉の向上に関する事業の普及と宣伝	「文化団体活動支援」 佐田町文化協会の事務局を担当した。	通年	スサノオホール	2名	380人	200
②文化、芸術、福祉の向上に関する事業の企画及び実施	「出雲から戦争と平和を考える～沖縄復帰50年と出雲の戦争遺跡～」 終戦後77年。沖縄復帰50年の節目でもあり、あらためて平和について考える。沖縄編：パネル展の実施にあわせ、朗読会や映画「ひめゆり」の上映会を開催した。出雲編：写真展「失われた大社基地」	R4.6.17～ R4.9.4	スサノオホール	3名	398人	462
	「SADA OUTDOOR THEATER～星空の下の社会的距離～」 しまね映画祭に振り替えたため実施なし					
	しまね映画祭2022 佐田会場 しまね映画祭実行委員会と共催で3本のドキュメンタリー映画を上映した。	R4.10.1	スサノオホール	5名	108人	56
	「謎解きゲーム～佐田にひそむナゾを追え～」 ごっこいまつりに併せ祭り会場を使用した、出雲・佐田にまつわる謎解きゲームを実施した。	R4.11.3	スサノオホール	10名	34人	79
	演劇集団 風煉ダンス 朗読劇&ライブ『まつろわぬ民2022-更地のうた-』 共催 演劇集団 風煉ダンス との共催で開催した。東日本大震災の実話をもとにした朗読劇と白崎映美さんのコンサートを実施した。	R4.12.11	スサノオホール	5名	77人	21
	「寺尾紗穂ライブ～出雲のわらべ歌をまじえて～」 音楽家、寺尾紗穂さんを招聘し出雲に伝わる「わらべうた」を再発掘し披露していただいた。また、オリジナル曲のライブも行った。	R5.3.19	スサノオホール	4名	127人	1,205
	文化庁アートキャラバン事業 島根県民会館から事業を受託し、プロのアーティストによる公演を行った。「半崎美子 明日を拓くコンサート2022」と題し、佐田中学校吹奏楽部との合唱によるコラボも実施した。	R4.8.11	スサノオホール他	8名	354人	2,976
	「タイルクラフト教室」 実施なし					
「市民のアート展」 (農) 橋波アグリサンシャイン従業員である三島大地さんによる、農村風景に一文字を添えた写真展「はしなみギャラリー」を開催した。	R4.11.3 1～12.11	スサノオホール	2名	296人	0	
③文化芸術活動での各種講演会等への講師派遣	今年度は実施なし					
④社会教育、まちづくり及び子どもの健全育成等を目的とした事業への援助及び協力	「佐田地区青少年育成協議会事業への協力」 佐田地区青少年育成協議会が実施する活動に協力した。	通年	佐田地区内	1名	200人	0
⑤スポーツの推進を目的とした事業の企画及び実施	「出雲市スポーツ協会佐田支部の活動支援」 出雲市スポーツ協会佐田支部の事務局を担当した。	通年	佐田地区内	2名	2800人	163
	「100円で遊ぶDAY」 佐田スポーツセンターの利用促進のために、毎月第1土曜日の午前9時から午後5時までの間、1人100円で開放した。利用者が激減したため2回開催で終了した。	5月・6月	佐田スポーツセンター	1名	12人	6
⑥スポーツの振興を目的とした各種講習会等への講師派遣	今年度は実施なし					
⑦障害福祉サービス事業	「就労継続支援施設 やまびこ園の運営」 精神・知的・身体障がい者を対象とした就労継続支援施設「やまびこ園」の運営を実施した。また農福連携を強化した。古民家への移転を実施した。	通年	やまびこ園	5名	1749人	13,270
⑧相談支援事業	「障がい者相談支援事業」 障がい者の生活支援、福祉サービス利用等の相談業務を実施した。また、出雲市の委託を受け、障がい程度区分認定調査業務を実施した。	通年	佐田町内	2名	96人	1,424
⑨高齢者の介護予防、生活支援に関する事業の企画及び実施	「さだ予防教室」 出雲市からの委託で高齢者の引きこもり防止等を目的に、毎週火曜日介護予防教室を開催した。	通年	潮の井ふれあいセンター	5名	523人	959

⑩健康づくり及び介護予防を目的とした各種の研修会等への講師派遣	今年度は実施なし						
⑪スサノオホール、佐田スポーツセンター等公立施設の管理運営業務の受託	「指定管理業務の受託」 スサノオホール、佐田スポーツセンターの指定管理業務を実施した。	通年	スサノオホール・佐田スポーツセンター・文化練習館	11名	16,413人	29,342	
⑫佐田地域の集落・団体支援及び研修事業等の企画及び実施	「農村RMO事業」「佐田地域戦略会議」「小さな拠点・雇用創出部会」事務局支援 佐田自治協会の佐田地域戦略会議及び専門部会（小さな拠点・雇用創出部会）の事務局を担当した。また、佐田地域づくり協議会（農村RMO形成推進事業）の事務局を担当し、専任社員1名を雇用した。	通年	スサノオホールほか	5名	2,800人	932	
	「島根大学 佐田サテライトラボラトリー支援」 島根大学を主として佐田地域の地域課題を共に研究する。また、さだラボフォーラムの開催に際し協力を行った。	通年	スサノオホールほか	5名	2,800人	0	
	「さだ暮らしサポート事業」「佐田がんばる塾」の継続 佐田町内の困りごと解決や、仲間づくりの支援としてさだサポート事業や佐田がんばる塾の継続・拡充に努めた。	通年	佐田町内	5名	66	455	
⑭ツーリズムの企画立案と実施事業	「佐田魅力発見ツアー」 新型コロナウイルス感染症拡大により実施しなかった						
	第3種旅行業の実施 佐田地域の方を対象に航空券等の手配を実施した	通年	佐田町内	1名	10人	66	
	「ARスタンプラリーさだモン」 佐田町内40か所に潜む「さだモン」を見つけ出し、出題されるクイズに答えスタンプを集める周遊型ARスタンプラリー。さだモンを考えるワークショップや、ツアーを開催した。	R4.6.5～ R4.10.30	佐田町内外	2名	75人	407	
⑮地域関連グッズ等の商品開発及び販売事業	「さだのちいさなマーケットcotaba」 佐田町内外のショップを招き、4月～11月、3月と月1回、マーケットを開催した。	通年	スサノオホールほか	5名	1,660人	117	
⑯その他この法人の目的を達成するために必要な事業	八幡原交流施設「結」の運営 (社福)やまゆりから借用している古民家に、障がい者通所施設「やまびこ園」と住民交流スペースを設けた。交流スペースは、佐田がんばる塾、空き家相談会、民間イベント等に活用した。	通年	八幡原交流施設	4名	120人	948	
	広報活動 季刊広報誌「風のたより」の発行やホームページ・SNSを積極的に運用した。	通年	佐田町内外	4名	2,800人	21	

(2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
イベント各種のチケット販売	取扱なし	通年	スサノオホール	5名		0